

## 【導入パート】

### 両耳、通常距離

#### (インターホンを鳴らし、主人公が出てきたので丁寧な挨拶)

お初にお目にかかります。

本日、もも様よりお部屋掃除のお手伝いを仰せつかりました、林あろまと申します。

#### (メイド服に突っ込まれ説明)

はい、私の家は代々掃除婦の家系でして、この服装はお仕事着に当たります。

メイド？ はい、そのような呼び方をされる方もいらっしゃるようです。

はい、お見知りおきください。

失礼ですが、もも様のお兄様でいらっしゃいますか？ もも様は御在宅でしょうか？

#### (一体何故…だけ小声で)

はい…なんと…コンビニに…一体何故…お戻りまでもうしばらくかかると…

いえ、問題ございません。私、掃除用具は一式持参しておりますので、もも様がおられずともお掃除は可能です。

もも様には恐縮ですが、先に取り掛かせて頂いてもよろしいでしょうか？

#### (主人公が手伝うと言い出し、少し遠慮がちに)

そんな、お兄様のお手を煩わせるわけには、私のお仕事ですので私一人で…わかりました…はいよろしくお願い致します。

#### (ものの部屋に入り、少しの沈黙の後納得した様子で)

…成程…なかなかの散らかり具合…お任せください。

#### (掃除が終わって一息つく、主人公に感心される)

お兄様、お疲れ様でした。いえ、私の手際などまだまだです。

母はもっと上手く掃除します。ふき取る時埃が宙に舞いませんから…

…もも様、お戻りになられませんでしたね……

#### (独り言で少し悔しそうに)

…物足りない…

いえ、何でも…はっ、そうだお兄様…お兄様のお部屋も、よろしければお掃除させて頂けませんか？

これも何かの縁、せっかくですので…え？ 昨日掃除したばかり…？

**②両耳、通常距離**  
**(初めて笑う、嘲笑)**

フフ、いえ失礼…殿方のお部屋掃除、きつとやり残しが多いだらうと思って…つい。

私が徹底的にお掃除して差し上げます。ええ、お任せください。

**(主人公の部屋へ、思いのほか綺麗でしょんぼり)**

失礼いたします。

あ…綺麗。はい…思いのほか、とてもお掃除の行き届いたお部屋です。

お兄様、出過ぎた真似をして申し訳ございませんでした。

はい、大人しくも様のお戻りをお待ちします。

**(一瞬素で独り言)**

はあ…もっと掃除したかったな…

**(主人公がお茶を取りに立ち上がる。何かに気づき、取り乱す)**

え、お茶ですか？ いえ、お気遣いなく…

……っ！ お兄様、お待ちください！ もしや…ちょっとお耳を拝借しても？

---

**右耳、近距離**

**(主人公の腕を引き、耳を覗き込む)**

しっ、お静かに…動かないでください…じ～…

**(口調は丁寧だが嬉しさが隠せない)**

…これは…！ フフッ、見つけた♡ お掃除のし忘れ、耳垢がこんなに♡

お兄様ったら…詰めが甘いですよ？ こんな所のお掃除を怠るなんて…

---

**両耳、通常距離**

では、致しましょうお兄様、もちろん…お耳掃除ですよ？

お兄様のベッドへ失礼して…

さ、こちらへどうぞ…耳掃除の道具も一式取り揃えておりますので。

はい、もちろん私の膝枕で致します。

お耳掃除は膝枕ですものだと、母からきつく教わりましたので。

もも様がお戻りになられるまでに済ませますので…さ、どうぞ♡